

園芸市場情報

平成29年1月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

1月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

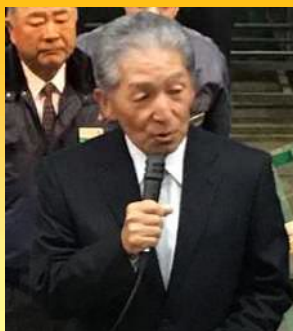
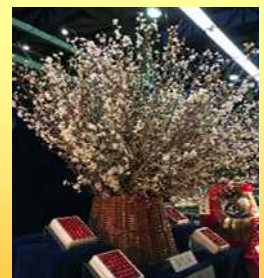
果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

今年も盛大な初競りで青果市場が始まりました

1月5日(木)東京都中央卸売市場大田市場で、青果の初競りが行われました。東京青果(株)のセリ場では、川田社長の力強い年頭のあいさつの後、競売が始まり市場は威勢の良い声で活気に包まれました。商売繁盛を願って作られた縁起物の野菜の宝船が15万円、正月用のサクランボが20万円などご祝儀相場で順次競り落とされ、買参人の拍手に包まれました。

流通の中核の卸売市場に今年も再び多くの青果物が集まって、新たな年が始まりました。



東京青果 川田社長あいさつ



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 12月(中旬まで)の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 1月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
特集「秋・冬にんじん」

II 花き(切花)情報

- 06 12月の経過(販売経過、品目別経過)
1月の見通し(ストック、カーネーション)
入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 11月の青果物と花き

IV やっちゃば閑話

- 08 「ゆとり」

V 首都圏掲示板

- 09 「止め市まであと少し!年末の市場は活気にあふれています。」
「千葉県のシクラメン生産者が農林水産大臣賞を受賞!!」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 12月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	<p>11月の天候はやや持ち直したものの、本州では寒気と暖気が交互に通過し、寒暖の変動が大きくなった。また、24・25日に強い寒気が流れ込んだ関東甲信地方では広い範囲で降雪があり、この時期としては記録的な低温となった。</p> <p>12月に入ってから、本州・九州地方を中心に広い範囲で、暖かく湿った空気が周期的に流れ込んだことから、気温は平年を上回り、降水量が多く、日照時間は平年を上回ったところが多かった。</p>
入荷量	<p>東京都中央卸売市場への入荷は、高冷地や北海道・東北産から関東・西南暖地産に主力が切り替わっている。入荷量は、天候の回復と気温高により「ほうれんそう」「レタス類」等の葉物類や「きゅうり」を中心に、前年を上回った。一方で、「にんじん」「トマト」は回復傾向ではあるが、前年を大きく下回った。</p> <p>12月上中旬の入荷量は、野菜類では86,952t（前年比96.8%）と前年をやや下回った。</p>
相 場	<p>天候不順による不安定な入荷からは回復しつつあるものの、9月下旬からの高値基調が依然解消されず、価格は高止まりしており、多くの品目で前年を大幅に上回った。特に、「だいこん」「キャベツ類」「トマト」等は、未だ前年比150%を超える高値となっている。</p> <p>価格は12月上中旬計では、野菜類では266円/kg（前年比126.1%）と前年を大幅に上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「りんご類」「かき類」「いちご類」を中心に出回った。</p> <p>「みかん類」は「普通みかん」が出回り始め、少なかった前年をかなり上回った。出荷が遅れていた「かき類」は前年を大幅に上回ったものの、「りんご類」は前年を下回り、生育が遅れている「いちご類」も多かった前年をかなり下回った。12月上中旬計の入荷量は、33,784t（前年比105.7%）と前年をやや上回った。</p>
相 場	<p>「みかん類」の入荷は増えてきたものの、果実類全体の品薄感を払しょくするほどには回復しておらず、依然として高値基調が継続している。価格は12月上中旬計で、400円/kg（前年比104.0%）と高かった前年をやや上回った。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成28年11月下旬～平成28年12月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	11月下旬				12月上旬				12月中旬				12月上中旬計			
		開市日数 本年8日・前年7日		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年16日・前年16日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	41,395	99.3	266	142.1	44,726	101.2	266	128.5	42,226	92.5	265	123.8	86,952	96.8	266	126.1
だいこん	市場計	4,056	100.3	95	230.1	4,556	115.2	88	185.0	3,914	96.0	91	167.7	8,470	105.5	89	175.4
	千葉	2,519	96.1	93	228.8	2,420	115.4	86	182.9	1,784	91.8	89	166.8	4,204	104.0	87	174.3
にんじん	市場計	2,556	95.3	180	150.2	2,859	87.8	149	154.2	2,709	87.6	140	154.9	5,568	87.7	144	154.5
	千葉	2,043	86.9	184	154.4	2,332	82.2	149	159.6	2,077	80.2	136	161.4	4,409	81.2	143	160.5
はくさい	市場計	5,029	133.0	85	241.0	5,250	116.5	77	245.6	4,525	105.4	79	248.8	9,775	111.1	78	247.0
キャベツ類	市場計	4,853	102.7	121	211.3	5,199	108.4	109	174.1	4,341	91.8	114	202.0	9,540	100.2	111	186.9
	千葉	1,743	81.9	129	225.9	1,380	70.5	108	191.5	1,090	61.1	116	225.0	2,470	66.0	112	206.2
ほうれんそう	市場計	495	85.6	501	184.2	571	108.6	480	112.6	499	103.8	482	102.3	1,070	106.3	481	107.4
	千葉	51	61.3	413	204.9	66	67.1	407	128.1	64	79.5	416	112.6	129	72.7	411	120.7
ねぎ	市場計	1,766	102.3	310	119.4	1,916	97.7	322	113.1	1,790	97.6	306	121.0	3,706	97.7	314	116.7
	千葉	242	113.4	353	116.9	354	82.3	356	112.5	447	94.9	333	121.0	802	88.9	343	116.4
レタス類	市場計	2,270	91.7	253	191.9	2,640	107.0	266	142.6	2,779	108.9	224	108.1	5,419	108.0	244	124.0
	千葉	81	103.1	260	182.3	122	97.6	286	160.5	158	110.4	244	117.2	280	104.5	262	134.9
きゅうり	市場計	1,526	109.5	391	93.5	1,510	109.2	461	82.9	1,517	108.6	449	100.6	3,027	108.9	455	90.8
	千葉	162	95.7	398	89.7	229	93.0	469	85.8	302	114.6	439	96.9	531	104.2	452	90.7
なす	市場計	581	102.2	481	130.9	479	109.9	495	98.9	412	96.5	551	106.5	891	103.3	521	102.3
	千葉	3	74.2	619	149.1	3	62.1	604	106.7	2	60.2	621	105.4	5	61.3	611	106.2
トマト	市場計	1,165	49.0	690	274.4	1,360	67.9	715	249.1	1,525	84.4	532	160.4	2,885	75.7	618	200.6
	千葉	159	46.2	603	303.7	129	74.9	649	258.8	105	65.8	508	180.3	234	70.5	586	220.5
ピーマン	市場計	651	116.2	496	198.2	650	133.4	442	114.3	477	111.8	494	89.4	1,127	123.4	464	99.9
	千葉	3	72.7	596	148.3	2	46.2	587	148.1	2	79.1	544	124.6	4	58.3	566	137.5
さといも	市場計	310	108.5	263	95.3	392	106.9	283	93.8	641	101.3	298	94.2	1,033	103.4	292	94.0
	千葉	36	81.4	225	81.7	60	82.1	221	79.0	74	69.0	238	84.5	134	74.3	231	82.0
ばれいしょ類	市場計	2,409	104.6	181	185.9	2,591	85.1	186	188.7	2,451	87.9	190	189.8	5,042	86.4	188	189.3
たまねぎ	市場計	3,500	120.5	73	99.7	3,930	114.8	74	105.1	3,775	88.8	74	112.0	7,705	100.4	74	108.8
生しいたけ	市場計	256	103.6	1,066	111.5	266	100.6	1,072	104.9	234	93.3	1,102	107.7	500	97.1	1,086	106.2
かぼちゃ	市場計	755	81.0	301	208.5	907	87.1	267	146.1	1,277	99.4	262	124.0	2,183	93.9	264	133.0
さやえんどう	市場計	21	54.0	1,260	166.8	32	80.5	1,093	113.9	42	98.4	1,001	99.5	74	89.8	1,041	105.8
かんしょ	市場計	1,152	112.7	231	100.5	1,146	101.7	213	92.1	1,114	97.8	221	90.2	2,260	99.7	217	91.1
	千葉	660	120.6	210	104.9	634	109.1	188	92.8	586	99.5	184	87.3	1,220	104.2	186	90.0
かぶ	市場計	629	96.7	135	153.5	587	93.4	132	141.5	520	85.2	130	123.4	1,107	89.4	131	132.1
	千葉	503	94.7	133	154.2	479	92.6	129	140.5	435	87.5	126	120.9	914	90.1	128	130.2
ごぼう	市場計	287	100.5	382	129.9	321	93.2	409	127.5	376	100.2	407	124.5	697	96.9	408	125.9
こまつ菜	市場計	363	114.9	344	209.1	322	93.7	477	171.3	301	81.4	362	156.5	623	87.3	422	165.9
	千葉	17	68.2	327	183.8	20	87.0	404	140.7	16	66.6	323	131.7	36	76.5	367	138.4
こねぎ	市場計	120	104.9	1,106	157.8	123	115.0	1,010	115.5	117	107.5	983	89.2	240	111.3	997	100.8
わけぎ	市場計	4.9	85.7	902	145.8	5.1	79.5	1,041	165.4	6.1	95.8	924	137.5	11.2	87.6	977	150.2
糸みつば	市場計	50	116.9	490	130.2	46	119.8	536	88.2	45	103.7	740	72.1	91	111.3	636	76.8
しゅんぎく	市場計	121	94.1	540	151.9	128	100.6	677	149.1	122	85.6	576	115.8	249	92.7	628	131.6
	千葉	39	87.7	558	155.9	49	112.2	659	146.5	54	97.8	536	109.9	103	104.2	595	126.3
にら	市場計	247	99.1	873	171.2	228	89.0	907	144.0	225	92.3	942	121.5	453	90.6	924	131.9
セルリー	市場計	224	83.0	298	186.7	256	95.9	244	136.6	267	94.1	259	117.1	522	95.0	252	125.5

品目	産地	11月下旬				12月上旬				12月中旬				12月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年16日・前年16日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	110	47.8	289	210.8	126	64.1	307	169.0	92	41.5	333	187.3	218	52.1	318	177.1
ブロッコリー	市場計	787	57.4	425	233.0	855	71.7	462	191.8	701	45.0	433	232.5	1,556	56.6	449	213.9
サラダ菜	市場計	34	123.8	509	163.2	25	98.9	589	143.8	29	105.1	603	120.2	55	102.2	597	130.3
	千葉	12	118.2	466	155.9	9	94.3	532	145.2	10	100.5	573	123.5	19	97.4	554	133.1
パセリ	市場計	18	79.1	2,473	349.6	19	77.4	2,012	216.8	20	68.4	2,892	248.0	39	72.4	2,470	233.2
	千葉	9	61.4	2,271	401.1	9	63.2	1,894	236.7	11	60.0	2,924	272.5	20	61.4	2,458	257.9
チンゲンサイ	市場計	138	125.8	321	140.0	128	110.1	341	115.7	119	98.3	332	114.1	247	104.1	336	115.0
エンダイブ	市場計	7	109.2	554	138.6	6	87.6	559	123.5	6	71.3	632	145.3	12	78.8	595	134.3
ミニトマト	市場計	370	48.9	1,099	254.7	523	76.8	1,013	232.7	508	91.1	796	143.0	1,031	83.3	906	184.9
	千葉	39	75.4	1,089	213.0	41	76.8	1,127	216.6	48	99.5	887	146.9	89	87.7	997	177.8
とうもろこし	市場計	2	88.1	475	122.1	1	93.5	453	127.2	1	156.6	450	83.0	2	120.7	451	103.4
いんげん	市場計	95	83.6	893	133.6	75	79.6	993	120.9	90	92.5	900	108.2	165	86.1	942	114.0
そらめめ	市場計	1	1.5	1,198	248.3	3	7.4	1,105	268.7	6	20.9	1,052	245.5	9	12.9	1,070	255.9
えだまめ	市場計	8	127.8	1,224	116.6	10	114.1	1,311	125.0	8	184.1	1,230	97.1	18	138.5	1,273	113.2
やまといも	市場計	59	123.5	629	107.0	50	109.8	624	102.7	51	105.4	628	94.5	101	107.5	626	98.3
	千葉	38	122.6	631	111.3	34	120.7	617	105.6	34	114.6	620	97.6	68	117.6	618	101.3
根しようが	市場計	100	117.3	591	98.5	108	100.1	595	102.5	107	100.4	571	97.7	215	100.2	583	100.1
マッシュルーム	市場計	48	114.9	975	105.3	57	123.4	901	99.1	49	105.9	962	101.5	107	114.6	929	100.1
外国産	市場計	1,242	142.1	346	111.1	1,381	122.7	326	110.5	1,363	117.6	303	100.3	2,744	120.1	315	105.3
果実総量	市場計	15,829	109.7	337	106.7	17,764	112.2	370	103.6	16,020	99.4	434	105.3	33,784	105.7	400	104.0
みかん類	市場計	8,287	117.5	281	117.6	9,925	115.2	288	111.6	9,644	106.5	294	106.5	19,568	110.7	291	108.9
(早生みかん)	市場計	8,139	117.2	281	117.3	8,208	111.1	283	110.4	3,597	107.4	281	109.8	11,805	109.9	283	110.2
かんきつ類	市場計	441	104.0	451	114.2	716	105.1	543	109.5	856	102.4	514	108.2	1,572	103.6	527	108.8
りんご類	市場計	2,733	101.3	323	112.4	2,591	98.5	330	110.9	2,015	87.5	337	111.1	4,606	93.4	333	111.0
(ふじ)	市場計	2,251	104.4	320	114.0	2,144	98.0	322	112.4	1,623	87.3	329	114.1	3,767	93.1	325	113.1
いちご類	市場計	285	56.0	1,877	129.2	571	74.1	1,703	116.6	830	79.4	2,025	126.1	1,400	77.2	1,894	122.6
(とちおとめ)	市場計	188	67.1	1,783	129.5	337	86.3	1,573	116.3	474	89.3	1,937	122.0	810	88.0	1,786	120.0
(あまおう)	市場計	43	47.4	2,276	129.9	85	58.4	2,135	122.7	137	68.4	2,308	136.8	222	64.2	2,242	131.1
メロン類	市場計	201	88.3	819	108.5	214	90.5	973	107.2	209	77.9	1,014	116.0	423	83.8	993	111.6
(アールスメロン)	市場計	164	85.9	891	112.1	164	86.6	1,107	111.9	140	73.6	1,205	123.2	304	80.1	1,152	117.1
すいか類	市場計	79	140.8	235	83.9	44	75.9	242	90.5	35	50.0	266	116.0	79	61.8	253	102.4
ぶどう類	市場計	94	94.4	770	105.3	67	89.0	635	95.2	65	126.4	515	87.1	132	104.1	576	90.5
かき類	市場計	1,508	110.5	269	108.1	1,438	192.5	264	98.3	522	100.6	309	80.4	1,960	154.9	276	87.4
外国産	市場計	1,398	103.0	199	105.0	1,500	102.7	194	104.1	1,299	96.7	202	100.4	2,799	99.8	198	102.2

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。

0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 1月の見通し

野菜

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

入荷量は、年内からの天候不順による生育不良の影響からは回復傾向で、多くの品目で前年並となる見込み。

価格は、生育不良からの回復が早い「ほうれんそう」等の葉物や西南暖地が主産地の「レタス類」「トマト」等は前年を下回り、関東産が中心の「だいこん」「キャベツ類」「にんじん」等で前年を上回り、野菜全体では安かった前年を上回る見込み。

果実

「みかん類」を中心に「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」等が出回る。

入荷量は、「みかん類」「かんきつ類」は年明け出荷分の生育は順調で、少なかった前年を上回る見込み。生育が回復してきた「いちご類」は少なかった前年を上回る見込みで、果実全体でも前年を上回る見込み。

入荷量は潤沢ではないものの前年を上回る品目が多い見込みから、価格は高値基調が幾分和らぎ高かった前年は下回るが、平年は上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↑↑	⇒	主産地は神奈川・千葉県。神奈川県は生育良好で出荷前倒し傾向。千葉県は生育まちまち。入荷量は前年及び平年並の見込み。
にんじん	↓↓	⇒	↑↑	↑↑	主産地は千葉県。前年より面積は減少したが、生育は良好。入荷量は多かった前年をかなり下回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↗	↑↑	⇒	主産地は愛知・千葉県。愛知県は生育順調。千葉県は寒波等の影響から回復傾向。入荷量は、多かった前年並の見込み。
ほうれんそう	⇒	↓↓	↓↓	↓↓	主産地は群馬・茨城県。群馬県は生育順調。茨城県は低温・低日照の影響あり。入荷量は少なかった前年並の見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↓	↗	主産地は千葉・埼玉県。両産地とも作柄は天候不順の影響から回復傾向。入荷量は前年及び平年並の見込み。
レタス類	⇒	⇒	↓↓	↓↓	主産地は静岡県。生育順調で前進ぎみ。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↓	↓	⇒	主産地は宮崎・高知・千葉県。宮崎・千葉県は生育順調。高知県は成り疲れ。入荷量は少なかった前年並の見込み。
トマト	⇒	↓↓	↓↓	↓	主産地は熊本・愛知県。両県とも生育順調だが小玉傾向。入荷量は少なかった前年並の見込み。

増加

減少

凡例

⇒ 平年並: ±2%

↗, ↓ やや高, やや低: ±3~5%

↗↗, ↓↓↓ かなり高, かなり低: ±6~15%

↑↑, ↓↓↓ 大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

秋・冬にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	27年1月入荷量	27年1月シェア率
千葉	6,551 t	88.2 %
埼玉	382 t	5.1 %
北海道	5 t	0.1 %
青森	1 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

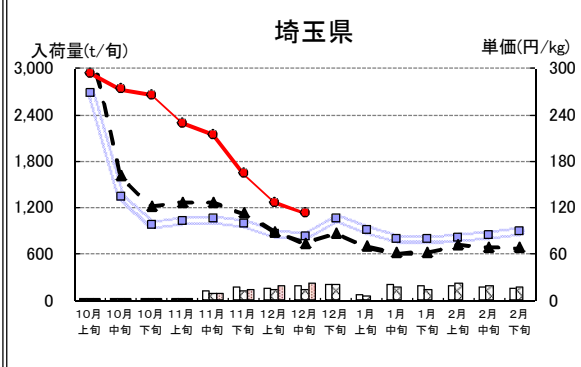
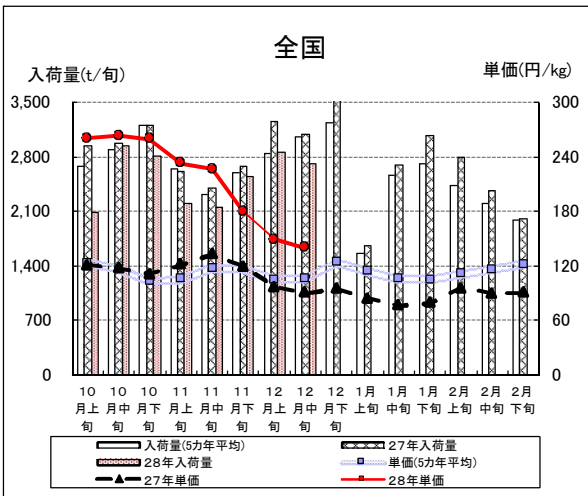
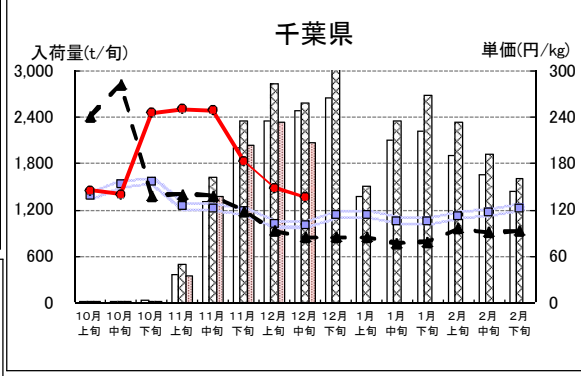
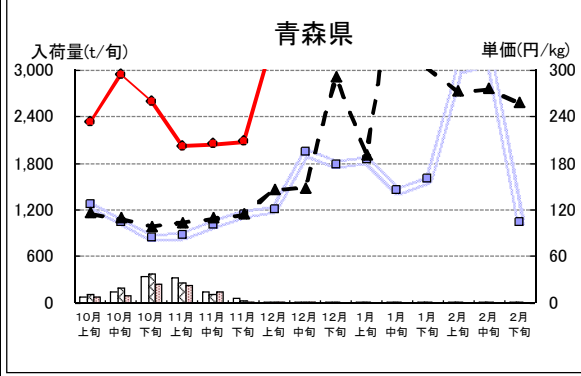
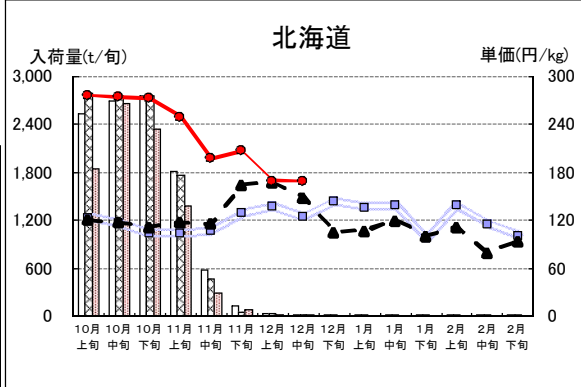
東京都中央卸売市場に入荷するにんじんは、11月に北海道を主産地とする秋にんじん(8-10月)から、千葉県を主産地とする冬にんじん(11-3月)に切り替わります。秋・冬にんじんはそれぞれ北海道・千葉県が入荷量のほとんどを占めます。

本年は、8月まで生育が順調でしたが、8-9月に台風・大雨が続き、大きな影響を受けました。

生育後半だった北海道では、冠水による品質低下、収穫作業の遅れ、物流の混乱等があり、10月の入荷量は平年をかなり下回りました。生育初期・播種期に影響を受けた千葉県でも、生育の遅れ、品質の低下がみられ、12月の入荷量は多かった前年をかなり下回り、平年も下回りました。価格は、台風直後から高騰し、10月までは平年の2倍を超え、千葉県からの入荷が本格化してきた後も高値が続き、12月中旬も平年の3割高となっています。

現在、主産地の千葉県では、天候が回復し生育順調となっており、1月の入荷量は多かった前年を下回るものの、平年並の見込みです。価格は、野菜高騰の影響が残り、引き続き高値となり、安かった前年を大幅に上回り、平年も大幅に上回る見込みです。

1月入荷予測	6,680t(前年比90.0%、平年比97.7%)		
1月価格予測	140円(前年比177.0%、平年比130.3%)		
1月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗



Ⅱ 花き(切花)情報

12月の経過(上～中旬)

入荷量は9月の日照不足の影響で、平年をかなり下回った。単価は前月より下がったものの、平年をやや上回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	上旬は、少なかった前年並で、平年を大幅に下回った。中旬は平年並の入荷量であった。
相場	上旬は品薄が続き平年をやや上回ったが、中旬は平年並であった。
動向	トルコキキョウ、ストック等が前年、平年に比べ大幅に入荷量が減少した。菊類では外国産の入荷量が、少なかった前年を大幅に上回り、平年をやや上回った。

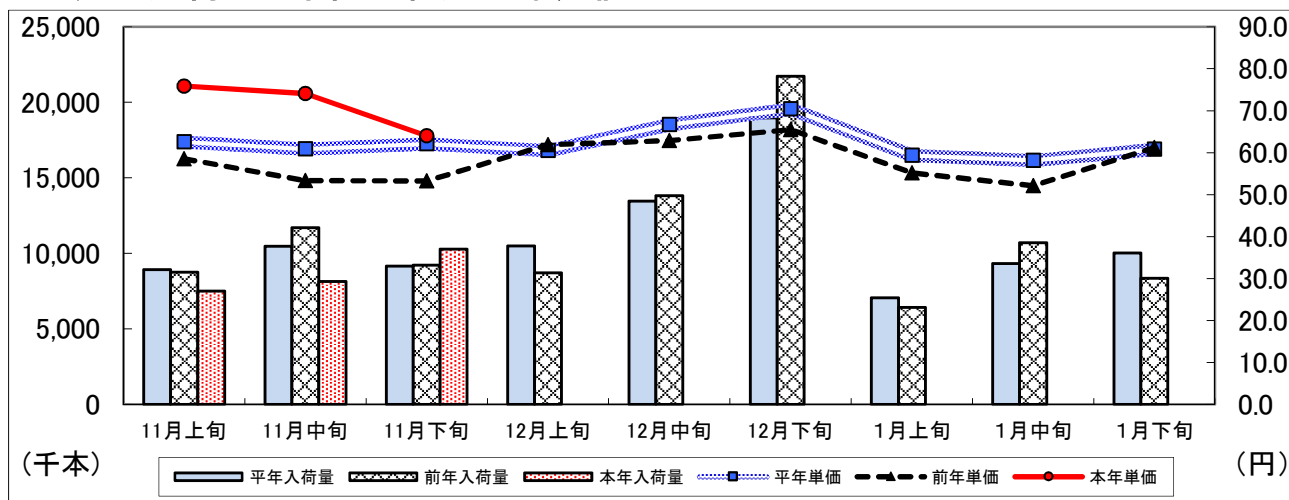
品目別経過

品目	経過
輪菊	(株)大田花き 中旬は徐々に数量が増加し、年末需要に向け下位等級の引き合いが強まった。下旬は25日過ぎより上位等級の引き合いが強まったが、定植時の天候悪く、上位等級は例年に比べ少なかった。
トルコキキョウ	(株)大田花き 国産は産地により生育の進み、遅れがあり、12月は端境となってかなり出荷量が伸び悩んでいる。台湾産は台風の影響により、年内の出荷は少ない。

1月の見通し

品目	見通し
ストック	(株)大田花き 出荷の遅れていた千葉県を始めとする産地が出揃い、上旬より出荷量増加の見込み。1月は葬儀需要の動向次第だが、例年と比べて厳しい相場の見込み。
カーネーション	(株)大田花き 国産STは上位等級が徐々に出揃う。一方SPは緩やかに品質が上がってくる見込み。輸入は円安の影響で各商社仕入を抑える傾向にある為、昨年より入荷量が少ない見込み。

11月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H28. 11月				累計 (H28. 4～H28. 11月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
野菜	23,142	221	91	156	179,867	212
だいこん	4,051	110	105	215	22,022	108
にんじん	1,193	202	75	168	10,385	182
はくさい	2,721	112	103	243	12,144	95
キャベツ	3,491	154	95	197	32,914	100
ねぎ	951	325	104	139	6,726	361
トマト	545	635	44	227	9,809	336
きゅうり	618	445	86	152	7,734	298
ばれいしょ	1,197	167	99	168	9,681	183
たまねぎ	2,139	70	111	100	14,898	108
レタス	846	263	73	250	9,157	187
果実	6,058	286	91	116	42,719	329
みかん	2,564	261	88	132	5,110	276
かき類	1,191	266	101	134	2,985	273
グレープフルーツ	81	214	90	107	1,031	204
なし類	146	309	83	120	5,469	279
ぶどう類	73	996	101	117	1,811	766
いちご類	51	1,952	43	127	1,139	914
すいか類	6	302	106	101	6,393	193
メロン類	48	557	101	97	2,969	382
バナナ	606	131	116	94	3,861	171
りんご	899	290	83	112	4,204	327
その他	284	160	108	101	1,991	155
青果物合計	29,484	233	91	142	224,577	234

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H28. 11月				累計 (H28. 4～H28. 11月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,196	65	146	125	28,183	60
きく	1,453	59	193	105	10,985	65
バラ	180	74	173	104	1,153	64
カーネーション	401	43	145	126	3,818	45
枝物	110	88	126	114	747	92
鉢物	173	132	75	126	991	122
その他	13	28	325	36	36	67
花き合計	3,492	69	139	118	29,957	63

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「ゆとり」

7歳になる息子が、サンタさんに今年こそ3DSをもらうんだ！とイブに目を輝かせていた。息子が言うには、友達ほとんどが3DSを持っているらしい。息子の友達は公園でも3DSをしているようで、自分も持っていないと遊ぶ人がいない、学校で仲間にも入れない、ということらしい。

そういえば、公園で遊ぶ子供たちのグループも大きく二つに分かれている。元気良く走り回る子供たちがいる一方で、グループでピコピコやっている姿もよく見かける。個人的には、10歳前の遊び盛りの子供が、外でもゲームをするというのはちょっと寂しい。できれば、かくれんぼや鬼ごっこ、体を動かして遊んでほしい、というのが親のささやかな希望である。

しかし、ここでちょっと反省した。自分と一緒に外で遊んであげられているか？我が家も共働き。平日はもちろん、休日も何かとばたばたしている。「ゆとり」をもってしっかり遊んであげられているとは言い難く、若干胸が痛い。

「ゆとり」といえば、近頃は家庭で料理をする機会も減っているようだ。統計でも20年前に比べて加工食品の支出割合が増えている。首都圏のスーパー回りをしても惣菜売り場やカット野菜・果物の充実度に驚くことが多い。

そういえば、我が家でも惣菜を買う機会は多い。妻は夕方に帰ってから、家事をやり、学校・習い事の連絡を確認し、さらに宿題を見ている。毎日のことだが、たまに休暇をとって、これを代行すると結構大変なことだとわかる。生鮮野菜を買って、料理した方が安いし健康にもいいだろうが、忙しい時はつつい惣菜に頼りたくなってしまふ。

その一方で、一人当たりの食費支出額は20年前とあまり変わっていない。同じ量であれば当然加工野菜の方が単価は高い。それでも、家事の手間を減らしたい傾向の方が強いようだ。この秋は野菜が高騰したが、お客がまず惣菜を買ってから必要な野菜だけを買う、少し値段が下がったのにそれでも生鮮野菜が売れない、とスーパーの担当者が嘆いていた。

一昔前は、ちょっとした手間をかけて野菜をたっぷりおいしく食べていたはずだ。しかし、世の中はそのちょっとした手間の「ゆとり」が少なくなっている。そして、量販店等の販売側でも、惣菜やカット野菜・果物の品ぞろえを増やし、八百屋もお客を待つスタイルから、納め・配達が中心となってきている。農業生産自体はなかなか変化が難しいが、青果物も商品。お客の変化にどう対応できるか。常にできることを考えていかなければならない。

さて我が家には、サンタさんから3DSではなく、最新式の独楽が届き、息子は大泣きした。厳しいようだが、サンタさんからのメッセージは、体を使って遊びなさい、ということのようだ。「ゆとり」の少ない、忙しい毎日ではあるが、せめて子供と一緒に外で遊んであげられる時間を増やせるように「ゆとり」を大事にしたい、と思う年の瀬である。

(ぶわなしゃんば)

V 首都圏掲示板



止め市まであと少し！年末の市場は活気にあふれています。

冬もいよいよ本番、年明け間近の市場では、年末ならではの季節商材が所狭しと並び、活気あふれる競りが行われています。

今年は、9月の台風・大雨などの天候不順に始まる生育不良から品薄が長く続いていましたが、ここにきてようやく回復の兆しが見え始めています。

「今年はずいぶん問題続きの年だったけれど、来年こそはいい年にしたいね！」と大田市場の買参人。来年への期待もあってか、競りでの手やりにも力が入っている様子でした。



競り人と買参人の元気な掛け合いが響きます



正月から春の商材まで様々！



千葉県のシクラメン生産者が農林水産大臣賞を受賞！！

平成28年度全国花き品評会シクラメン部門が11月23日に(株)フラワーオークションジャパンにて行われました。全国のシクラメン生産者が出品するこの品評会で、千葉県の高橋康弘氏が栽培したミルキーガール5号鉢が、金賞第一席である農林水産大臣賞を受賞されました。栽培期間中は全国的な日照不足だったことから、葉が徒長しやすく形のバランスが崩れやすい環境であったにも関わらず、しっかりと形を整え、花も多く全体のバランスの良い商品となっており、栽培管理技術の高さがうかがえました。

また、11月から12月にかけて各地で様々な品評会が行われました。各地の生産者が腕によりをかけて栽培した様々な商品や、今後の花きのトレンドが伺えます。一部を御紹介しますので是非とも各ホームページをご覧ください。

- ・鉢物品評会 2016 鉢花・蘭の部（豊明花き株）
- ・フラワー・オブ・ザ・イヤー・OTA（株大田花き）
- ・ジャパンフラワーセレクション



圧倒されるほどの花のボリューム